



## 平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年2月14日

会社名 **イーバンク銀行株式会社**

URL <http://www.ebank.co.jp>

代表者 代表取締役社長 松尾 泰一  
 問合せ先責任者 取締役財務経理担当 大塚 年比古

TEL (03)3509-6787

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

### 1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	12,255	(23.3)	△11,604	(—)	△11,639	(—)
19年3月期第3四半期	9,933	(37.7)	△75	(—)	45	(△79.4)
19年3月期	13,709	(28.9)	△544	(—)	△403	(—)

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	△17,723 80	— —
19年3月期第3四半期	76 50	— —
19年3月期	△677 18	— —

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率 (注1)	1株当たり 純資産	自己資本比率 (国内基準)(注2)
	百万円	百万円	%	円 銭	%
20年3月期第3四半期	747,858	27,791	3.6	41,526 40	9.13
19年3月期第3四半期	466,464	30,984	6.5	51,523 16	—
19年3月期	522,709	30,148	5.7	50,149 53	6.23

(注)1. 「自己資本比率」は、「(期末純資産の部合計-期末新株予約権-期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

2. 「自己資本比率(国内基準)」は、平成19年3月期から、銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第19号)に定められた算式に基づき、算出しております。なお、平成19年3月期第3四半期は算出しておりません。

### 2. 配当の状況

前年同四半期及び当四半期のいずれにおいても当該四半期会計期間のいずれかの日を基準日とする配当を行っておりませんので、当該項目の記載は省略しております。

### 3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

当第3四半期連結会計期間末の貸倒引当金は、一部の資産の自己査定について、直前中間決算時の自己査定の実績値を用いた見積もりにより引当を行っております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

① 会計基準の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(4) 公認会計士又は監査法人による監査の有無 : 無

### 4. 定性的情報・財務諸表等

#### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間においては、電子決済サービス業務において、受取内国為替手数料及び口座振替手数料等が順調に推移しました。しかしながら、金融サービス販売業務においては、投資信託販売に係る金融商品販売手数料は堅調に推移しましたが、カード関連手数料については、取扱商品ラインナップの変更の影響や、特約定期に係る金融派生商品収益の不調により減少しました。また、運用調達業務においても、資金運用収益は堅調に推移しましたが、市場環境の悪化によりファンドの運用損や、外国債券も評価額の下落による減損の計上により減少しました。経常費用については、業容の拡大により増加しました。この結果、当行グループの当第3四半期連結会計期間の経営成績は、経常収益12,255百万円、経常損失11,604百万円、当期純損失11,639百万円となりました。

#### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の負債の部合計は、預金の順調な増加等により、720,067百万円となりました。純資産の部合計は、第三者割当増資を実施したものの、利益剰余金が減少したことにより、27,791百万円となりました。資産の部合計は、国債を中心とした投資を行った結果、747,858百万円となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末における連結自己資本比率(国内基準)は9.13%となりました。

## 5. 連結財務諸表等

## (1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科目	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	増減		(参考)前期末 (平成19年3月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
現金預け金	42,964	106,726	△63,761	△59.74	80,312
コールローン	—	60,000	△60,000	—	—
買入金銭債権	34,166	32,752	1,413	4.31	28,294
金銭の信託	46,620	87,083	△40,463	△46.46	83,496
有価証券	594,022	167,575	426,446	254.48	313,330
外国為替	1,990	1,100	890	80.96	1,671
その他資産	20,196	5,449	14,746	270.60	8,697
有形固定資産	1,038	693	345	49.85	832
無形固定資産	7,030	5,555	1,475	26.55	6,299
繰延税金資産	31	20	10	51.63	30
貸倒引当金	△203	△492	289	58.65	△255
資産の部合計	747,858	466,464	281,393	60.32	522,709
(負債の部)					
預金	694,642	427,067	267,574	62.65	482,697
その他負債	25,287	8,351	16,936	202.80	9,740
賞与引当金	67	61	5	9.19	123
ポイント引当金	69	—	69	—	—
負債の部合計	720,067	435,480	284,586	65.34	492,561
(純資産の部)					
資本金	38,414	32,331	6,082	18.81	32,335
資本剰余金	5,437	—	5,437	—	—
利益剰余金	△11,643	△193	△11,450	—	△642
自己株式	△113	△115	2	2.33	△113
株主資本合計	32,094	32,021	72	0.22	31,579
その他有価証券評価差額金	△4,614	△1,352	△3,261	—	△1,724
繰延ヘッジ損益	47	—	47	—	—
評価・換算差額等合計	△4,567	△1,352	△3,214	—	△1,724
少数株主持分	265	315	△50	△15.86	293
純資産の部合計	27,791	30,984	△3,192	△10.30	30,148
負債及び純資産の部合計	747,858	466,464	281,393	60.32	522,709

## (2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科目	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	増減		(参考)前期 (平成19年3月期)
	金額	金額	金額	増減率	金額
経常収益	12,255	9,933	2,321	23.37	13,709
資金運用収益	5,171	2,813	2,357	83.80	3,963
(うち有価証券利息配当金)	(4,253)	(2,115)	(2,137)	(101.06)	(2,961)
役務取引等収益	5,552	4,488	1,063	23.68	6,286
その他業務収益	234	928	△693	△74.72	1,715
その他経常収益	1,297	1,702	△404	△23.78	1,744
経常費用	23,859	10,009	13,850	138.37	14,253
資金調達費用	3,225	1,426	1,799	126.17	2,092
(うち預金利息)	(3,225)	(1,426)	(1,799)	(126.15)	(2,092)
役務取引等費用	2,357	1,170	1,186	101.38	1,748
その他業務費用	5,237	134	5,102	—	237
営業経費	10,811	6,518	4,293	65.86	9,224
その他経常費用	2,227	759	1,467	193.24	950
経常利益(△は経常損失)	△11,604	△75	△11,528	—	△544
特別利益	51	87	△36	△41.29	240
特別損失	95	—	95	—	154
税金等調整前四半期(当期)純利益 (△は税金等調整前四半期(当期)純損失)	△11,648	11	△11,660	—	△457
法人税、住民税及び事業税	5	1	3	200.68	12
法人税等調整額	△0	△1	0	—	△11
少数株主損失	13	34	△21	△61.52	△56
四半期(当期)純利益 (△は四半期(当期)純損失)	△11,639	45	△11,685	—	△403

(3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書  
当四半期(平成20年3月期 第3四半期)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計	その他有 価証券評 価差額金	繰延 ヘッジ 損益	評価・ 換算差額 等合計		
平成19年3月31日残高(百万円)	32,335	—	△642	△113	31,579	△1,724	—	△1,724	293	30,148
当四半期の変動額										
第三者割当増資による増加高	6,075	6,075			12,150			—		12,150
ストック・オプションの 行使による増加高	3				3			—		3
四半期純利益(△は四半期純損失)			△11,639		△11,639			—		△11,639
資本剰余金の欠損金填補		△637	637		—			—		—
株主資本以外の項目の当四半期 の変動額(純額)					—	△2,890	47	△2,842	△28	△2,871
当四半期の変動額合計(百万円)	6,078	5,437	△11,001	—	514	△2,890	47	△2,842	△28	△2,356
平成19年12月31日残高(百万円)	38,414	5,437	△11,643	△113	32,094	△4,614	47	△4,567	265	27,791

前年同四半期(平成19年3月期 第3四半期)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計	その他有 価証券評 価差額金	評価・ 換算差額 等合計			
平成18年3月31日残高(百万円)	32,310	11,232	△11,472	△115	31,954	△1,591	△1,591	287	30,650	
当四半期の変動額										
ストック・オプションの 行使による増加高	20				20		—		20	
四半期純利益(△は四半期純損失)			45		45		—		45	
資本剰余金の欠損金填補		△11,232	11,232		—		—		—	
持分法適用会社の減少に伴う 剰余金増加高			1		1		—		1	
株主資本以外の項目の当四半期 の変動額(純額)					—	238	238	27	266	
当四半期の変動額合計(百万円)	20	△11,232	11,278	—	67	238	238	27	333	
平成18年12月31日残高(百万円)	32,331	—	△193	△115	32,021	△1,352	△1,352	315	30,984	

(参考)前期(平成19年3月期)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計	その他有 価証券評 価差額金	評価・ 換算差額 等合計			
平成18年3月31日残高(百万円)	32,310	11,232	△11,472	△115	31,954	△1,591	△1,591	287	30,650	
連結会計年度中の変動額										
ストック・オプションの 行使による増加高	24				24		—		24	
当期純利益(△は当期純損失)			△403		△403		—		△403	
資本剰余金の欠損金填補		△11,232	11,232		—		—		—	
持分法適用会社の減少に伴う 剰余金増加高			1		1		—		1	
自己株式の売却				2	2		—		2	
株主資本以外の項目の連結会計 年度中の変動額(純額)						△133	△133	6	△127	
連結会計年度中の変動額合計(百万円)	24	△11,232	10,830	2	△374	△133	△133	6	△501	
平成19年3月31日残高(百万円)	32,335	—	△642	△113	31,579	△1,724	△1,724	293	30,148	

## 6. 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」(連結)

	(単位:億円)		(参考)	(単位:億円)
	平成19年12月末	平成18年12月末		平成19年3月末(実績)
破産更正債権及びこれらに準ずる債権	—	—		—
危険債権	—	—		—
要管理債権	—	—		—

(注) 上記は、金融機能の再生のための緊急措置に関する法律に基づいたものであります。

## 7. 連結自己資本比率(国内基準)

	(単位:億円)		(参考)	(単位:億円)
	平成19年12月末			平成19年3月末(実績)
自己資本比率	9.13%			6.23%
基本的項目(Tier1)比率	15.55%			12.78%
自己資本の額	162			147
基本的項目の額	277			301
総所要自己資本額	71			94

(注) 平成19年金融庁告示第15号に基づき開示しております。なお、平成18年12月末は算出しておりません。

## 8. 単体自己資本比率(国内基準)

	(単位:億円)		(参考)	(単位:億円)
	平成19年12月末			平成19年3月末(実績)
自己資本比率	8.93%			6.15%
基本的項目(Tier1)比率	15.31%			12.69%
自己資本の額	160			145
基本的項目の額	274			299
総所要自己資本額	71			94

(注) 平成19年金融庁告示第15号に基づき開示しております。なお、平成18年12月末は算出しておりません。

## 9. 時価のある有価証券の評価差額(連結)

## ○評価差額

	(単位:億円)				(参考)	(単位:億円)		
	平成19年12月末		平成18年12月末			平成19年3月末		
	時価	評価差額	時価	評価差額	時価	評価差額		
						うち益	うち損	
その他有価証券	5,882	△66	1,289	△15	2,764	△15	2	18
株式	1	△0	4	△3	4	△1	—	1
債券	5,265	1	1,121	△14	2,531	△13	0	13
その他	615	△67	163	2	228	△1	1	3

(注) 1. 各四半期末の「評価差額」及び「含み損益」は、それぞれ各四半期末時点の帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理前)と時価との差額を計上しております。

2. なお、満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式に係る含み損益はありません。

## 10. デリバティブ取引（連結）

## (1) 金利関連取引

区分	種類	平成19年12月末			平成18年12月末			平成19年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所	金利先物	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	金利オプション	—	—	—	—	—	—	—	—	—
店頭	金利先渡契約	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	金利スワップ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	金利スワップション	1,260	0	0	992	6	0	1,072	1	0
	金利オプション	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計		0	0		6	0		1	0

(注) 1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を四半期連結損益計算書に計上しております。

2. 時価の算定

取引金融機関から提示された価格によっております。

3. 金利スワップション取引には、当行において区別して把握することが困難な金利スワップ取引を含めて表示しております。

## (2) 通貨関連取引

区分	種類	平成19年12月末			平成18年12月末			平成19年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所	通貨先物	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	通貨オプション	—	—	—	—	—	—	—	—	—
店頭	通貨スワップ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	為替予約	472	1	1	434	△0	△0	548	0	0
	通貨オプション	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計		1	1		△0	△0		0	0

(注) 上記取引については時価評価を行い、評価損益を四半期連結損益計算書に計上しております。

なお、ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

## (3) 株式関連取引

該当事項はありません。

## (4) 債券関連取引

該当事項はありません。

## (5) 商品関連取引

該当事項はありません。

## (6) クレジットデリバティブ取引

区分	種類	平成19年12月末			平成18年12月末			平成19年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
店頭	クレジット・デフォルト・オプション	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他	20	△0	△0	50	1	1	50	1	1
	合計		△0	△0		1	1		1	1

(注) 上記取引については時価評価を行い、評価損益を四半期連結損益計算書に計上しております。